

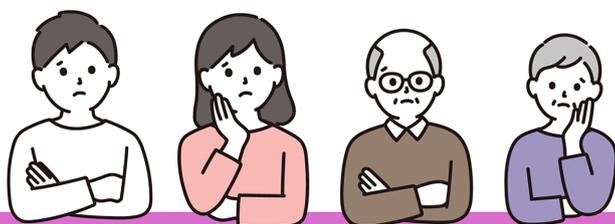
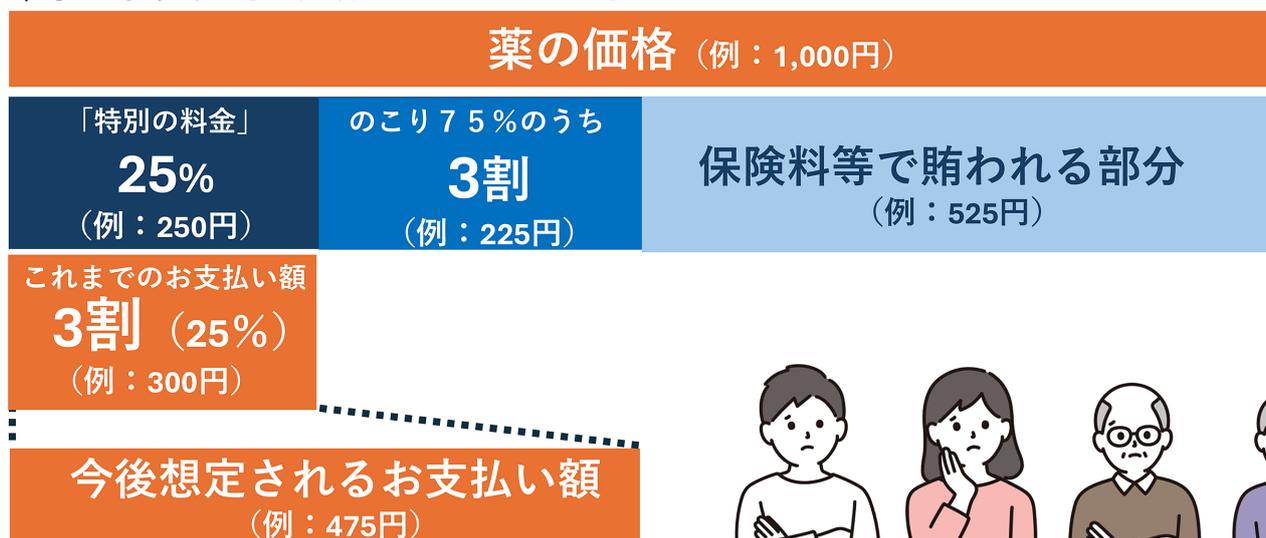
知っていますか？

# あなたのお薬、 これから負担が増えるかも

処方箋医薬品のうち、成分や効能が似通った市販薬が販売されている医薬品 (=OTC類似薬) 77成分・1100品目について、追加負担を徴収することが政府によって検討されています。

実現されると、薬剤の価格の25%分を「特別の料金」とし、残り75%のうち窓口負担と同じ割合 (3割負担の場合75%中の3割分) と合わせた金額が徴収されることになります。

## ◆医療費 3割負担の方の場合



## 負担額はどれくらい増える？

患者さんの負担増加は、  
受診控えに繋がり、重篤な  
疾患が見逃される危険も...

撤回を求める署名活動を行っています。

政府は、処方薬のうち成分や効能が似た市販薬が販売されている医薬品 (OTC類似薬) の一部を公的医療保険の対象から外すことを検討しています。

右QRコードから「対象とされた医薬品リスト」を確認できます。



治療に必要な薬は保険適用が当たり前です！薬の保険外しに反対しています。裏面の署名にご協力をお願いいたします。

千葉県保険医協会

千葉市中央区新千葉 2-7-2 大宗センタービル4階 ☎ 043-248-1617

# ストップ! 患者負担増請願署名 ロキソニンやアレグラなどの 薬の追加負担はやめてください

## ■■■ 請願趣旨 ■■■

自民・維新両党の協議を受けて、政府は77成分・約1100品目の薬について、1～3割の窓口負担とは別に、「特別料金(薬剤費の25%)」として患者に追加負担させることを決めました。対象となる薬剤は、痛み止めや花粉症治療薬、皮膚疾患の保湿剤など日常的に幅広い疾患で使われている薬です。これらの薬は「特別料金」を含めると実質的な窓口負担が1割は3割に、2割は4割に、3割は5割に増加します。

政府与党は「(受診せず)市販薬を利用している患者との公平性」を理由にあげていますが、受診が必要な患者に追加料金のペナルティーを科す道理はありません。むしろ、症状を抱えながら医療機関に受診できない国民の受診機会を確保すべきです。

また、「現役世代の保険料負担の軽減」を打ち出していますが、一人当たりの「軽減額」は月63円に過ぎず、一方で花粉症やアトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患に苦しむ患者など、すべての世代に負担増となります。

患者のいのち、健康を脅かす負担増の中止を求めます。

## ■■■ 請願事項 ■■■

### ●ロキソニンやアレグラなど、77成分・約1100品目の薬について、追加負担をやめること

※鉛筆や「消せるボールペン」は使用しないでください。

お名前	ご住所 (「同上」「〃」は使わないでください)
	都 道 府 県

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづき行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

私のひとこと



千葉県保険医協会

署名送付先：千葉県保険医協会 ☎ 043-248-1617  
〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-7-2 大宗センタービル4階